

# 地域資源創成学部の異分野融合教育の概要

## 異分野融合教育で人材養成する理由

地域社会(宮崎県)からはマネジメントをコアとした、農学や工学、産業技術等に関する幅広い視野を有した即戦力人材の存在が求められている

これまでの社会科学系教育では、マネジメントの知識を有する社会科学系人材は育成できても、地域課題解決や地域資源を理解するうえで必要な知識を享受する教育までは行ってこなかった

地域社会からのニーズに対応するには、地域の課題や価値を複眼的な視点から捉えるために、社会・人文科学、及び農学・工学の利活用技術の基礎知識の素養を備えた**新しいタイプ**のマネジメント人材=「**地域創生人材**」を輩出することが重要

## 宮崎大学が考える「地域創成人材」の特徴

- ◆ 高度な経営理論をコアとしたマネジメント力を備えている
- ◆ 社会・人文科学や農学・工学系の基礎知識を備え、地域資源を複眼的に捉える能力を備えている
- ◆ 情報収集能力や分析能力を備えている
- ◆ 地域社会にイノベーションを起こす力を備えている
- ◆ 起業及び地域産業を創出する能力を備えている
- ◆ 他国の文化風習を理解したグローバル感覚を備えている

## 新学部における異分野融合教育

### 「農学・工学等の基礎科目の開講」

マネジメントの理論に加え、その知識と経験に発展性を持たせるために、地域の活性化に必要な農学・工学等(理系)の基礎的な知識を学ぶ。

#### 農学・工学系科目

##### 【農学系科目】

生物学総論、作物栽培学、家畜生産学、栽培・家畜生産・食品製造実習、農業技術・経営学、食料・農業経済学、国際農業論、食品学総論

##### 【工学系科目】

循環型社会形成論、地域・防災まちづくり、都市計画学、コミュニティ交通計画、廃棄物と資源リサイクル、地域資源と再生可能エネルギー

### 「異分野教育を可能にする教員構成」

従来の専門分野の壁を越えて、教員が連携し、融合する必要があるため、協働して地域課題解決の教育研究を行う。

- ① マネジメント分野(経営学、マーケティング、会計)
- ② 経済学分野
- ③ 法律学分野
- ④ 社会学分野
- ⑤ 工学分野
- ⑥ 農学分野

### 「異分野の複数教員によるフィールド実践実習」

県内フィールドを実習場所とし、異分野の複数教員が様々な切り口から指導を行う。

#### 【集団実習】 1年～2年前期

大学周辺  
地域理解実習

産業別  
地域探索実習

中山間・市街地  
地域探索実習

学生約30名×教員3名体制で実習を行う。  
地域や産業の特性について理解を深めることを目的とする。

#### 【グループ実習】 2年後期～3年

コース別  
マネジメント実践Ⅰ

コース別  
マネジメント実践Ⅱ

コース別  
マネジメント実践Ⅲ

学生約10名×教員2～3名体制で実習を行う。  
地域の方々と協働してプロジェクトを実践し、マネジメント力を育成することを目的とする。

### 「異分野の複数教員による協働科目の開講」

異なる専門分野の教員が協働して創る(開講する)異分野融合科目により、これまで学生が習得した能力や知識の融合を図る。

#### 異分野融合科目

#### マネジメントコア科目

・プロジェクトマネジメント → 文系教員+農学・工学系教員

#### コース基礎科目

・地域産業創出概論 → 文系教員+農学・工学系教員  
 ・地域創造概論 → 文系教員+農学・工学系教員  
 ・企業マネジメント概論 → 文系教員+農学・工学系教員

#### コース発展科目

##### 【地域産業創出コース】

フードビジネスⅡ → 文系教員+農学系教員  
 観光と地域振興 → 文系教員+工学・農学系教員  
 照葉樹林保全活用論 → 文系教員+農学系教員

##### 【地域創造コース】

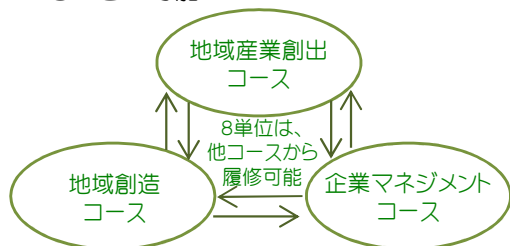
公共ストックマネジメント → 文系教員+工学系教員

##### 【企業マネジメントコース】

企業家精神とイノベーション → 文系教員+工学・農学系教員  
 ICTと地域産業 → 文系教員+工学系教員  
 次世代技術と産業 → 文系教員+工学系教員

### 「他コースからの専門科目履修」

他コースの専門科目を、指導教員との相談により履修し、学生のキャリア実現に必要な知識を身につけることが可能。



※2年後期から1コース/3コースを選択。  
取得単位数(26単位)のうち、8単位は他コースから履修することが可能